

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.3 平成26年12月5日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

08月1日 信楽園病院 看護師体験

初めて病院のユニフォームを身につけて、看護師体験と病院内見学をしました。

「更衣」・「整髪」・「爪の手入れ」・「消毒」など、医療人として必要な身だしなみに気を配り、患者様に接しました。



【手術室】手術台・照明などの説明



【透析室】医療機器の説明

病院内見学：手術室・急患室・リハビリ室・血液浄化療法室・放射線科・HCU・特殊入浴室など

特に印象に残ったことは、カンファレンスに参加させていただいたことです。看護師さんが詳しく患者さんのことを伝えた後に相手の方がさらに質問をしていました。その際に、看護師さんはすべての質問に的確に答えていました。普段、患者さんのことをよく観察しているからこそ何を質問されてもすぐに答えられるのだなと思いました。隣で聞かせていただいただけなのに、とても感動しました。

とにかく看護師さんの歩くペースが速くて、ついて行くのが大変でした。次々と自分のやるべきことをこなしながらも、患者さんとのコミュニケーションも忘れずに行っていて、すごいなあと思いました。車椅子やストレッチャーにも乗せてもらって患者さんの気持ちを味わうことができました。

看護師さんの行動の速さはもちろんのこと、計算力の速さにも驚きました。患者さんには常に笑顔で接していて、患者さんも嬉しそうでした。また、力仕事をした際、声をかけてもいないのに手の空いていた看護師さんが来ました。患者さんのことだけではなく、周囲もよく見て行動していることがわかりました。今回も、たくさんの発見がありました。

08月7日 すがはら消化器内科クリニック見学



新潟西高グラウンドのお隣り、徒歩3分の身近な個人病院です。休診の午後にお時間をいただきました。

A 菅原先生のお話

B 看護師さんの経験談

C オリンパス社員さんによる内視鏡の仕組みと画像診断

D 東芝メディカル社員さんによる超音波診断装置の仕組み



A 診察室で、菅原先生から地域に密着した個人開業医としての役割、総合病院との役割分担などのお話がありました。また実際の消化器系の病理画像を見て、ガンの診断についてもお話を伺いました。

B 待合室で、看護師さんたちから学校卒業からの経緯を伺いました。総合病院からスタートしていろいろな経験を積んだこと、女性としての生き方（結婚・出産を経て復帰まで）から看護師としての心構えまで、様々なことを伺いました。



C 内視鏡室：消化器系病院に欠かせない内視鏡画像診断と仕組みを操作も交えて説明してくださいました。



D エコー室：内視鏡では見ることのできない臓器の画像の読み方を教わり、実際に、「プローブ」をあて、肝臓や心臓を見せていただきました。

C・D 菅原先生のお計らいで、二つの医療機器メーカーから社員さんが説明に来てくださいました。民間企業の第一線の営業マン・技術者の方から、仕事に誇りを持って働くことの意味、仕事＝技術の進歩に伴い勉強を続けること、という社会人としてのあり方をも学びました。また、エコーの操作・診断は医師しかできないなど、機器の操作でも看護師と医師とは明確に違いがあることも知りました。クリニックの皆さん、両社の皆さんの御協力に心から感謝いたします。

今まで見学した大きな病院とは違い、地域の方とふれあう部分も多いからか、アットホームな雰囲気がありました。小さな病院も大切だし必要なのだと改めて感じました。内視鏡の技術は高く、小さい病院でも、ここまで治療ができるのだと感心しました。

コミュニケーションをとる際に、うまく返答することばかり考えていましたが、「まずは気持ち」ということをお聞きして、これからは、まずは聞くことから始めようと思いました。